

1. 基本情報

- (1) 国名：ジブチ共和国（以下、「ジブチ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ジブチ市（人口約60万人）
- (3) 案件名：ジブチ市三次レベル病院における医療機材整備計画（The Project for Improvement of Medical Equipment for Tertiary Hospitals in Djibouti City）
- (4) 計画の要約：本計画は、ジブチ市内の三次レベルの4病院（バルバラ病院、ダル・エル・ハナン母子病院、シャキブ・サード・オマール呼吸器科病院及びペルティエ総合病院）において、医療機材を整備することにより、各病院の診断・治療体制の向上を図り、もって医療サービスの改善を通じた同国の持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

ジブチは、アジアとアフリカの結節点に位置しており、「自由で開かれたインド太平洋」を実現する上での西の要点であるとともに、紛争の多発する「アフリカの角」地域において安定した国として位置づけられている。また、我が国自衛隊も含め、各国のソマリア沖海賊対処の拠点となっている。2009年に我が国がアデン湾・ソマリア沖での海賊対処行動を開始して以降、2013年8月の安倍総理（当時）によるジブチ訪問をはじめ、最近では2019年8月に開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）での日ジブチ首脳会談（ゲレ大統領）や即位の礼の際の河野防衛大臣（当時）や木原総理補佐官（当時）との会談（アブドゥルカデル首相）、2019年末の河野防衛大臣（当時）や木原総理補佐官（当時）のジブチ訪問等、二国間関係は急速に緊密化し、我が国にとってジブチは戦略的に重要なパートナーとなっている。

また、ジブチはこれまで各種国際選挙を始めとする国際社会においては我が国の立場を一貫して支持してきている友好国でもあることから、二国間関係を維持・強化することは極めて重要である。

さらに、TICAD7において、我が国は日本の取組として「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）拡大とアフリカ健康構想の推進」を表明しており、300万人の基礎医療アクセスや衛生環境の改善等を推し進めることとしていることから、本事業は右取組を具現化するものである。

(2) 当該国における保健セクター／地域の開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ジブチでは、国家保健セクター開発計画 2020-2024（Plan National de Développement Sanitaire : PNDS 2020-2024、以下「PNDS」という）の中で、「国の成長と持続可能な開発に適う健康の維持」を目標として定め、UHC推進の戦略を掲げている。PNDSでは保健医療施設のインフラ整備の達成が目標として掲げられており、特に全人口の半数以上が集中し都市化が進行（2019年都市化率：77.92%、世銀）するジブチ市において、幅広い医療ニーズに対応する三次レベル病院の役割は大きい。他方、このような三次レベル病院の老朽化した医療機材の整備が保健医療サービス体制を維持する上で喫緊の課題となっており、PNDSでも保健医療施設のインフラ整備の達成が目標として掲げられている。

近年では、感染症（死因に占める割合：HIV/AIDS12%、急性下気道感染症 7%、結核 6%、Institute for Health Metrics and Evaluation）のみならず非感染性疾患（心疾患 6.5%、脳卒中 6.5%、同上）の疾病負荷が新たな課題として認識されており、これらの感染症及び非感染性疾患の予防と治療の強化については PNDS でも掲げられている。これに伴い、高度な医療サービスを担う三次レベル病院の役割が増しており、ジブチ市内にある 24 の病院のうち本計画の対象となる三次レベルの 4 病院は、各分野の医療サービスにおいて中核的な機能を担っている。具体的には、バルバラ病院は貧困層の居住者が比較的多いジブチ市バルバラ地区（人口約 40 万人）に医療サービスを提供しており年間約 40,000 件の外来診療、約 2,400 件の手術を担っている。ダル・エル・ハナン母子病院は年間約 7,000 件の分娩件数（うち帝王切開約 2,400 件）に対応し、シャキブ・サード・オマール呼吸器科病院は結核を含む呼吸器疾患の専門病院と位置付けられている。ペルティエ総合病院は地域の拠点となる高次医療機関であり同国最大の総合病院である。

従来、高度な医療を要する重症患者の多くはトルコ等国外の病院で治療していたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を受け国外への搬送は困難となり、これら三次レベル病院の役割は更に増大している。他方で、何れの病院においても医療機材の老朽化や機能低下により適切な検査・治療の提供に支障をきたすことが懸念されている。また、同国では各病院の機材維持管理体制の脆弱性を克服するため、保健省傘下のバイオメディカルセンターが全国公立病院の医療機材維持管理業務を担っており、各病院に最低 1 名の技師を常駐させる計画が進められている。将来ジブチ政府が自立的に医療機材の適切な維持管理をするためには、バイオメディカルセンターの組織的な能力強化を機材供与と一体的に実施する必要がある。

なお、我が国は無償資金協力（1989 年度「ペルティエ総合病院医療機材整備計画」、1991 年度「医療機材整備計画」および 2000 年度「ジブチ共和国子供の福祉無償母子保健強化計画」）にて同国の中核病院のインフラ整備を支援。また、「医療機材管理・保守」、「アフリカ向け保健医療財政システムと UHC の推進」等の本邦・第三国研修を通じて同国の医療従事者の人材育成を継続的に実施してきた（1997 年～2020 年）。さらに、我が国は「経済社会開発計画」（2020 年度）では、本計画対象のバルバラ病院を含めたジブチ市内の病院に対し、新型コロナウイルス対策等に資する機材整備（コロナ緊急対応にかかる医療機材供与、5 億円）を実施しているが、本計画で整備する感染症及び非感染症疾患のための検査・診断・治療用の医療機材との相乗効果により、新型コロナウイルス対策も含めた同国の保健医療サービス提供内容の向上及び UHC の促進に相互補完的に寄与する。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

ア) 機材整備等の内容：一般 X 線撮影装置（CR 式）、生化学自動分析装置、超音波診断装置（循環器用）、超音波診断装置（産婦人科用）、高圧蒸気滅菌装置 等。

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理。ソフトコンポーネントとして、対象機材に対する運用・臨床技術及び保守管理技術の向上のための指導、ガイドライン・マニュアル作成等。

② 期待される開発効果

機材整備による検査体制の強化に伴う検査数の増加（X線検査件数：44,000→44,900、血液検査数：53,000→59,400、両数値とも事業完成3年後を想定。）により、感染症に加えジブチで近年増加する心疾患や脳卒中等の非感染性疾患にかかる医療サービスの強化への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健省

他機関との連携・役割分担：特になし。

④ 運営／維持管理体制：保健省傘下のバイオメディカルセンターが全病院の機材維持管理を所掌し、人員計画に基づき維持管理技師が各病院に配置されている。過去に我が国の無償資金協力で整備した機材は正常に活用されている。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：USAIDはHIV/AIDS・ポリオ対策・保健制度支援を、世界銀行は母子保健・HIV/AIDS・結核対策、フランス開発庁（AFD）はHIV/AIDS、UNICEFは母子保健分野を支援している。イタリアはバルバラ病院の建設（1988年）を支援。中国政府は海軍病院船を派遣し、無料医療サービスを提供するなどの支援を行っている。主要ドナーが特定疾患や分野への対応支援を行っている中、本計画はこれら疾患等に対応するために中核的な機能を担う三次レベル病院に対し医療機材を整備するもので、他機関の活動と相まって同国の保健医療サービスの改善及びUHCの促進に資するものである。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

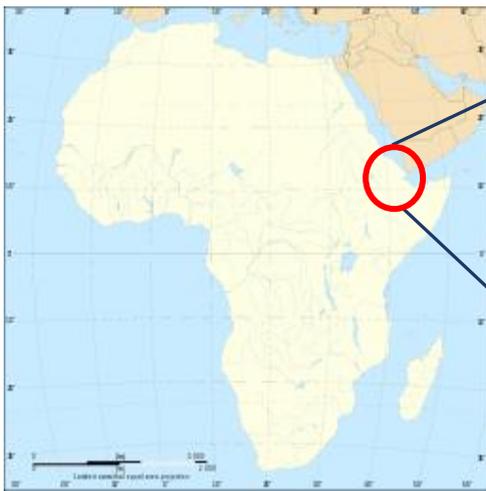
我が国は無償資金協力にて本事業対象病院等に対する医療機材整備（1989年、1991年及び2000年）を実施し、同国の中核病院のインフラ整備を支援してきた。これら機材については本邦研修や第三国研修を通じて人材を育成したことから、2012年に実施した医療機材管理・保守研修フォローアップ協力では20年以上経過しても継続使用されている機材が複数確認された上、機材の故障時にはペルティエ病院の技師を他病院に派遣し対処するなどの状況が見られた。他方、日常的なメンテナンス不足による機材不調の発生や、帰国研修員が習得した知見を活かしたり共有したりする場の不足、予算不足や煩雑な手続きに起因する部品交換手続きの長期化、それに伴う医療機材稼働への影響、といった課題・問題も確認されたため、バイオメディカルセンターが組織として適切に機能するように運用・臨床技術及び保守管理技術の向上のための指導等をソフトコンポーネントとして実施する。また、「医療機材管理・保守」、「アフリカ向け保健医療財政システムとUHCの推進」等の本邦・第三国研修を通じて同国の医療従事者の人材育成を継続的に実施していく。

過去の同国における保健セクターにおける類似案件の評価では、研修参加者による病院内の医療機材管理手法に関する知見共有や老朽化した医療機材入れ替えのため交換部品等の調達計画策定の必要性が提言されている。また、ザンビア共和国向け無償資金協力「ザンビア大学付属教育病院医療機材整備計画」（評価年度2014年）の事後評価等では、医療機材の仕様を決定する際に、使用者からの意見を聴取し、スペアパーツの調達状況等、対象国の実情に沿っているか確認が必要との教訓が得られている。本教訓を踏まえ、本計画では維持管理に関わる技術者の能力強化と医療機材及び交換部品調達計画立案等のソフトコンポーネントを実施する。

以上

[別添資料] 地図

ジブチ市三次レベル病院における医療機材整備計画 地図



出典 : https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Africa_map_blank.svg



出典 : Google Maps

【ジブチ市内対象病院】



出典 : Google Maps

[別添資料] 写真

ジブチ 3 次レベル医療病院における医療機材整備計画対象病院 写真



① バルバラ病院 外観



② ダル・エル・ハナン母子病院 外観



③ シャキブ・サード・オマール呼吸器科病院
外観



④ ペルティエ病院 外観



⑤ ペルティエ病院 手術室



⑥ ペルティエ病院 過去 ODA 供与機材

出典：①～④現地調査（2021年5～6月）、⑤⑥JICA ジブチ事務所による病院視察（2021年10月）より取得。